

第35回ゆうゆうクラブ

(浅草でお笑い芸を楽しむ)

第35回ゆうゆうクラブは、快晴のさわやかな気候に恵まれた10月21日(日)に、「浅草でお笑い芸を楽しむ」として、つくばエクスプレス 浅草駅のすぐ隣にある「東洋館(昔はフランス座)」に行きました。東洋館は、ビートたけしを始めとした数々のスターを輩出した歴史ある演芸場です。いろいろの専門の演芸場としては都内唯一とのこと。

今回の参加者は26名でした。11時30分に集合して入館、昔話や近況を話題に談笑しながら幕の内弁当を食べ、12時に開演となりました。この日は「爆笑いろいろの演芸大行進」という演目で、満席のなか東京演芸協会に所属する23名の芸人が登壇しました。一人当たりの持ち時間は約8分、漫才、曲芸などが演じられ、最後に客席からの投票によって最多得票の「やまけいじ氏」に牧伸二杯が授与されました。

終演は16時30分で、4時間30分という長丁場でしたが、演者が次から次に登場し目先が変わるためか、長くは感じられなかったと思います。ちなみに「いろいろ」とは、漫才、漫談、コント、マジック、紙切り、曲芸、ものまねなど、落語以外の演芸のことです。東京演芸協会の出し物が全て終わり、集計が行われているなか最後に登場した桂雀々の上落語は、引き込まれるようなすばらしいものでした。これが本日の実質的なナンバーワンと皆さん思ったに違いありません。

終演後はそれぞれ帰路に就きましたが、何人かは折角の機会だからと、外国人でごった返す浅草の酒場に繰り出しました。

ゆうゆうクラブは、2000年10月の第1回「竜王峡」に始まり、今春の第34回「館林」まで全てハイキングでしたが、幹事会で、次は何処に行こうかと色々話あい、長時間歩くのはシンドイ人も居られるので、たまには座って楽しめる演芸鑑賞も良いのではないかと、ということで今回の企画となりました。でも、耳が遠いので「やっぱりハイキングがいいな」と言う方も居られます。

新規の加入者が少なく、平均年齢は年々上がっていきますが、今後もハイキングをメインにしながら、あまり歩かなくてすむ企画も織り込んでいきたいと思うこの頃です。

(ゆうゆうクラブ幹事 栃木弘)



[ゆうゆうクラブへ戻る](#)